



新羽中だより

令和6年3月19日(火)

3月号

横浜市立 新羽 中学校

☎542-1680 FAX 541-1038

「おごい教育」と「正解 (RADWIMPS)」～「はなむけの言葉」より

校長 豊澤 尚弘

横浜市立新羽中学校、106名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

3年前、中学校の入学式は、まだコロナ禍で、青春は密なのにもかかわらず、十分な活動ができないままのスタートでした。しかし、その中でも皆さんは、できることに全力で取り組み、仲間を大切に、2年生、3年生と徐々に日常を取り戻しながら、新たな新羽中の歴史をつくってくれました。日常の当たり前前の大切さ、そこにいてくれる家族や仲間たちの大切さを、身をもって学んできた皆さんは、きっと、これからの人生を大切に生きてくれることでしょう。

さて、先日の三年生を送る会で、これから「正解のない問い」に立ち向かっていくと、力強く宣言してくれた皆さんに、私から最後の話をしたいと思います。

皆さんは「徳川家康」を知っていますね。徳川家康にまつわる話はたくさんありますが、その一つに「おごい教育」というものがあります。幼少期、まだ竹千代と呼ばれていた家康は、今川家に人質に出されます。そこで、今川義元は、家臣に向かって「竹千代に、おごい教育をせよ」と命じました。しばらくして義元は、言いつけ通り「おごい教育」をしているか、家臣に尋ねました。家臣は、「朝は日の出る前から起こし、粗末な食事を与え、昼は武術の稽古、夜は学問と、休ませることなく厳しく教育しております。」と答えました。すると義元は激怒して、「寝ただけ寝させ、美味しいものを好きなだけ与え、夏は涼しく冬は暖かくし、嫌なことはさせず、本人が望むものは何でも与えてやれ。それがおごい教育だ。」そして、こう言ったのです。「そうすれば、たいていの人間はだめになる。」

おそらくこの話は、後世につくられた話だと思いますが、現代の私たちに当てはめると、どうでしょう。現代は「サービス社会」とも、「サービス過剰社会」とも言われています。私たちの生活は、驚くほど多くのモノにあふれ、驚くほど多くのサービスに依存しています。例えば、出かけるには車があり、食事をしようと思えばレストランやコンビニがあり、病気になれば医療サービスを受けられ、スマホをポチれば商品が届きます。モノやサービスが行き渡ること自体は、決して悪いことではありません。より便利で快適な生活、より安全で安心な生活ができるということは、とても大切なことです。

しかし、良いことばかりでもありません。車に頼れば歩く力が低下し、外食だけで食事を済ませれば、料理をする力はつきません。スマホに依存すれば人と向き合って話さなくなります。便利で快適な生活は、人間の能力を低下させているとも言えます。もっと心配なことは、サービスを受けることが当たり前になってしまうと、人は受け身になり、無責任になる、ということです。本当は自分で考え、自分で行動するべきものなのに、誰かがやってくれることが当たり前の人にとっては、自分の思うようにいかないことは、何でやってくれないのかと、他の人のせいにするしかありません。

そうすると、まさに「たいていの人間をだめにする」「おごい教育」です。9年間の義務教育を終え、これから「正解のない問い」に立ち向かっていく皆さんは、自分自身に「おごい教育」をしてはいけません。誰かがやってくれるのではなく、自分でつかむのです。世の中は正解のないものばかりです。しかも、大事なものほど正解のない問いです。誰も教えられません。他の人にとって正しいことが、あなたにとって正しいとは限りません。めまぐるしく変化するこの時代、今、正しいことが、10年後にも正しいとは限りません。「正解」は、自分でつかみ取るのです。これからの人生という制限時間の中で、自分の正解を自分らしく解答用紙に書けるように、自分を磨き続けてください。

《3年 保健講座～大切ないのち～ 2月21日》

横浜労災病院の産婦人科の大井由佳先生をお招きして、卒業前にいのちの授業をしていただきました。

「産婦人科について」「妊娠・出産・成長」「性的接触」「望まない妊娠」「性感染症」などの正しい知識を教えてくださいました。3年生の生徒は、大井先生の話真剣に聞き、「命をかけて生まれてくることの奇跡」「自分の行動に責任をもつこと」「周りの人への感謝」などを感じたようです。これから世界がぐっと広がっていく3年生が、いのちの大切さや性について学ぶことができた大変貴重な時間でした。



《3年 卒業遠足～よみうりランド～ 2月22日》

3年生は卒業遠足で「よみうりランド」に行ってきました。クラスごとのバスの中では盛り上がり、あっという間に到着をしました。小雨で寒い中でしたが、乗り物に乗ったり、美味しいものを食べたり、全員が時間をしっかりと守りながら、仲間との最後の楽しい時間を過ごしていました。



《3年 建築講座～ハマ建 公開授業～ 2月26日》

新羽小中合同の学校運営協議会委員の佐藤建二さんの「ハマ建」による公開授業が、3年生と地域の方を対象に行われました。新羽中学校がエコスクールになった経緯や専門家の方による「脱炭素社会」「健康な住まい」について教えていただき、生徒は真剣な面持ちで話を聞いていました。地球環境を考えたり、健康な住まいを考えたりする貴重な時間となりました。



《3年 認知症サポーター講座 2月27日》

新羽地域ケアプラザの方をお招きして、認知症の基本的なことについて教えていただきました。寸劇やロールプレイを通して、生徒は認知症の方との接し方や心がまえについても学びました。認知症サポーターとは、認知症の人の応援者（サポーター）のことです。特別なことをする人ではなく、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かい目で見守る人のことです。新羽の地域で、お互いの支え合いの輪が広がる貴重な機会となりました。



《3年生を送る会 3月6日》

1年生からは、感謝のメッセージ動画と合唱「Tomorrow」の披露がありました。2年生からは、感謝のメッセージ動画と応援団より3年生にエールが送られました。応援団は有志で結成され、何度も練習を重ねて本番はとてもしっかりいい姿を見せてくれました。3年生からは、後輩たちへエールを送る動画と合唱「正解」の披露があり、1・2年生にしっかりとバトンが渡されました。どの学年も気持ちや思いがこもった素敵な発表でした。



《卒業証書授与式 3月12日》

卒業式の予行は7日に行われ、2年生が中心に会場準備をしてくれました。準備の段階から3年生の先輩への感謝の気持ちや応援の気持ちが表れていて素晴らしかったです。

12日の当日は、1・2年生の在校生と保護者の皆様、ご来賓として学校運営協議会の委員の皆様と各町内会の会長さん17名の方のご臨席で行われました。卒業生は左胸に黄色の花のコサージュをつけ、さすが3年生という姿で堂々と入場し、立派な姿を見せてくれました。式の途中で涙ぐむ卒業生もいました。1・2年生もしっかりした態度が見られ、全校で卒業生を送ることができて素晴らしい式となりました。106名の卒業生の皆さん、それぞれの進路に向かって頑張ってください。



4月の主な行事予定



- 4月 8日(月) 着任式・始業式・入学式
- 4月 9日(火) 離任式・対面式
- 4月11日(木) 2年授業参観・2年校外学習保護者説明会
- 4月17日(水) 3年授業参観・3年修学旅行保護者説明会
- 4月18日(木) 3年全国学力・学習状況調査
- 4月19日(金) 1年授業参観・学校説明会・1年自然教室保護者説明会
- 4月25日(木) 横浜市学力・学習状況調査

春季休業について

3月26日(火)～4月7日(日)は春季休業となります。
連絡は平日の8:30～17:00にお願いします。

令和6年度 副教材費の支払いについて

今まで副教材費の支払いは、4月の学校説明会の日に、保護者の方が業者に支払いをしてもらっていましたが、令和6年度は、5月の指定日の朝の登校時間(8:10～8:30)に生徒もしくは保護者の方が持参して業者に支払いをする方法に変更します。(詳細は4月にご連絡します。)ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

中学校給食 4月のPICK UP 献立

◆入学・新級おめでとう!

4月 9日(火) お祝いごはん

◆春を感じよう♪

4月18日(木) めばるのあんかけ キャベツの煮びたし
ひじきのふりかけ あまなつゼリー

◆自分でかけるホットソース

4月26日(金) チキンカツ デミグラスソース

令和6年度から新羽中学校は給食
推進校となります。(1年生のみ)

